

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ちやいさぼ教室		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 43
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性の高い療育。	ひとりひとりの発達特性にあわせ、5領域を網羅したオリジナルの療育を実施。わかる喜びとできる自信を引き出す。	より専門性の高い療育を目指し、学会や専門研修などへ参加し、プログラムの見直しに繋げる。
2	保護者との関係性。	困りごとや悩みに寄り添い、家庭でできる学習法や手立てを伝えるだけでなく、保護者の心理面なども含めて支援できるように努めている。	職員間での情報共有に努め、関係機関とも密に連携して支援する。
3	職員の専門性の高さ	経験5年以上の職員や保育士、幼稚園教諭、教諭、心理師など、専門性の高い職員が療育を担当している。	学会や専門研修への参加を通して、療育内容や教材の見直し、ICTを活用した療育への取り組みなどを検討する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	防災訓練や避難訓練、その他子どもの安全を守るための計画など、保護者に十分に周知できていない。	契約時に説明しているが、定期的に通達している訳ではない。	専用ソフトに添付して常時閲覧できるようにし、その通達も行うよう改善する。
2	専門性の高い人材確保と育成	職員の年齢が上がり、介護をしなければならないスタッフが多くなってきたが、すぐに人材が確保できる訳ではない。また、療育を優先しているため、研修の時間が短くなっている。	人材確保と育成の為に、大学生と大学院生の実習生を受け入れているが他の手立ても検討する。人材育成研修については、全員ではなく少人数で数回に分けて行うなど改善する。